

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

【1月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年1月発行】

もくじ

ページ

NPO法施行5周年記念シンポジウム	1
NPO法人連絡会(川北秀人さん)	2
協働評価システム検討調査事業/NPO研修日記	3
市民参加こうありたい	4
札幌市介護事業所ガイドブック	5
NPOバンク便り Vol. 9	6~7
北海道のNPO総合情報誌[えぬぴおん]	8
NPOな・・・書籍案内、イベント案内	9
NPOサポート事業のご案内	10
お正月特集「NPOサポセンかるた」	
／情報BOX・助成金情報	11~12



NPO法施行5周年記念シンポジウム

北海道NPOサポートセンター 北村 美恵子

去る12月1日東京で開催された、NPO法施行5周年記念シンポジウム「NPOの過去・現在・未来」(主催:NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会)に参加しました。

<現状報告>

「改めてNPO法の意義を考える」山岡義典さん(日本NPOセンター/法政大学)

民間非営利組織が官庁の枠組みとは関係なく法人格を取得できるようになった。市民による自由な社会貢献活動の意義が制度として確認された。非営利法人制度に100年来の風穴を開けた。市民立法である。民間非営利活動の新たな動きを作り出したことを再確認し、これらの意義を風化させることなく、これらの意義を逆手に取るような動きを監視していくことが私達の役割である。

「福祉NPOの過去・現在・未来」田中尚輝さん(市民福祉団体全国協議会)

福祉系NPOの数は増えているが、総NPOに占める割合は当初の6割から5割を切っている。介護保険実施の1,000NPO法人中、介護保険事業しかやらない「えせNPO」が2割あり、介護保険に費やす以上の時間をボランティア活動に充てているか、賃金労働者が5人いれば50人のボランティアがいるか等、活動の質が問われている。

「NPO法人制度の現状と課題」松原明さん(シーズ=市民活動を支える制度をつくる会)

法施行時8~9万の任意団体が法人化すると考えたが、法人化した団体の2/3は施行後新規に設立した団体だった。新規参入は促進されたが、増加する行政からの委託事業を見込んでの営利企業の参入、暴力団が隠れみのかとして設立、詐欺まがいの行為等も見られる。このような団体との違いをきちんと説明できる力をつける必要がある。商取引の活動に積極的になると企業との違いがあいまいになる。公益法人制度改革で公益性の議論が焦点となろう。NPO法は2年後にはなくなるかもしれない。非営利公益か市民活動か、一つの公益性が多面的な公益性か、行政の補完か独立したセクターか、NPOの未来の方向性について議論すべき時である。

パネルディスカッション [NPO法施行による地域及び各分野での変化]

任意団体としての活動を経て法人格を取得した「蔵王のブナと水を守る会」、「日本子どもNPOセンター」、「アジア日本相互交流センター」、NPOで起業した「コーチズ」と、バラエティに富んだパネリスト達でした。興味深かったのはスポーツNPO法人「コーチズ」の報告でした。

コーチズ(広島市) 児玉宏さん

立ち上げ1年半は収入ゼロだったがボランティアが集まった。子ども達へのスポーツ指導はボランティアだったが、高齢者対象の健康づくりについては依頼が多かった。そこで、もと暴走族の若者達に高齢者の健康指導をやらせてもらおうと考えた。この「青少年ケアサポート事業」が広島県のNPO法人へのアイディア事業委託の第1号となった。16~27歳の若者10数名を16~20万円での緊急雇用である。「なぜNPOだったのか」との質問に「他になかったし、行政ににじり寄るため」と笑いをとっていた児玉さんだが、NPOで起業をと考えたのですからボランティアすることになるなんて思いもしなかったでしょう。マスコミで取り上げられるほどの広島暴走族からの脱退者をNPOに巻き込むとはTVのドキュメンタリーかドラマにでもなりそうである。

NPO法人連絡会

テーマ「NPO法施行5年～これからのNPO活動の課題」

日時：2004年1月10日(土)18:00～参加費：500円(資料代)

会場：Lプラザ4階中議室(札幌市北区北8条西3丁目)

JR札幌駅北口(西地下通路直結)

特定非営利活動促進法(NPO法)が施行されてから12月1日で満5年が経過しました。この5年でNPO法人数は全国で15000法人誕生し、社会的認知度は大幅に向上しました。この間NPO法の改定、「認定NPO法人」制度の創設と改定が行われ、少しずつ制度整備が図られてきました。一方政府の「行政改革」の枠組みの中で公益法人制度改革の動きがあり、NPO法人制度自体が存廃の岐路に立っており、政府行革推進本部の動きを注視する必要があります。

この機会に、この5年間を振り返り、現状を把握し、今後のNPO活動の課題について考察する目的でNPO法人連絡会を開催することに致しました。ぜひご参加ください。

メイン講師に川北秀人IIHOE代表をお招きし、問題提起していただきます。

多くのNPOのみなさんの参加を呼びかけます。

集会概要 18:00～開会 北海道内のNPO法人の現状分析

18:30～19:50 講演「これからのNPO活動の課題」川北秀人氏

20:00～21:00 ディスカッション

参加申込み：会場(定員70人)の都合がございますので、電話、FAX、メール等で事前に参加申込をお願いいたします。電話011-204-6523 FAX011-261-6524
e-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp



川北 秀人 IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

1964年大阪生まれ。87年京都大学卒業。(株)リクルートに入社、国際採用・広報・営業支援などを担当し、91年に退職。国際青年交流NGOの代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。NPOや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント支援や、環境コミュニケーションの推進を支援している。

編著書・訳書『NPO 大国アメリカの市民・企業・行政』『市民組織運営の基礎』監訳：『NPO 理事の10の基本的責任』『理事を育てる9つのステップ』など多数。隔月刊の「NPO マネジメント」編集発行人。日本NPO学会監事、政府委員、大学講師等を歴任。

特定非営利活動促進法に基づくNPO法人申請受理数・認証数(暫定数)

全国の申請受理数「北海道含む」 【11月30日現在】 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	15752	14199	51	127
道内の申請受理数 【11月30日現在】(北海道)	562	500	0	3

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

認証数の多い県 東京2903,大阪1141,神奈川833,千葉527,北海道500,兵庫455,福岡446,愛知420,京都378,埼玉363,静岡331,群馬284,長野279,宮城210,広島208,三重202

道民チャレンジ21世紀ファンド 【資料室/リンク集/活動カレンダー】

<http://www.with.pref.hokkaido.jp/challenge/>

市民活動団体情報(欲しい支援の情報)/支援情報(さまざまな社会資源を提供する研究機関、企業、NPOが発信する情報)提供/イベントカレンダー、電子掲示板(いまのところイベント情報が多い)、電子会議室などを開設しています。イベントカレンダーには各種イベント情報がたくさん掲載されています。(1月の情報23件、2月情報14件)リンク集もNPO支援団体、情報提供団体、助成団体中心に充実を図っています。お立ち寄りください。掲示板/活動カレンダーを有効にお使いください。

2 問い合わせ npo@mb.infosnow.ne.jp 担当・畑

NPO推進北海道会議では

市民活動団体等と行政の協働評価システム検討調査事業を行っています！



？ 協働ってなに？

行政から声を掛けられた事業、あれは協働だったのかな？
などというように思ったことはありませんか？
それは「協働」についてのルール作りがされていないのも理由の一つではないでしょうか！



協働だと思っていたが、あの事業は協働ではないぞ？

次に協働をやるときはもっと行政と話し合いをしなくては！
などというように感じたことはありませんか？
それは行った「協働事業」を振り返り、次に生かすための検証をすることが必要ではないでしょうか！
そこで、私たちは「協働事業」の事例・反省・課題等の材料を残すシステムを構築すべく、評価を導入している先進地事例の分析、そしてアンケートを実施し、望ましい協働事業評価システムのあり方を検討します。

昨年度、推進会議が編纂した「協働Q & A ハンドブック『協働50』」でご協力いただいた市民活動団体等と行政のみなさんと、2003年度新たに協働を行っている事業を中心にアンケートを実施します。
アンケート送付先には事前にお電話をいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。
また、アンケート対象となっていない方々からも、協働の評価はこんな評価方法がいいのでは？などのご意見も募集しております。



ご意見は・・・

〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル8F
特定非営利活動法人 NPO推進北海道会議
TEL 011-271-5209 FAX 011-281-8807
Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

まで、どうぞ。



NPO研修日記 その8

千葉 やすし 泰嗣

NPO情報をご覧の皆様、あけましておめでとうございます。
今年もよろしく願いいたします。

昨年はいろいろありました・・・今年もいろいろあるでしょう。

今年は、仕事及び私生活におけるターニングポイント的な年だと思っております。

私事ではありますが、仕事においては、NPO→行政、私生活においては、夫→父になることというのは、何も変える必要はないのかもしれませんが、気持ち的には期待と不安がいりまじっております。

母親教室で興味深い言葉を聞きました。「妊婦は2人前食べなさい」というのは昔の言葉です。現在の食事であれば通常どおりの食事でも栄養はとれる」というのです。昔の言葉が悪いということは、けっしてありません。歴史・経験というのは、学ぶべきことがたくさんありますし、現代の人が同じ過ちを踏まないように昔を振り返ることも大切です。

しかしながら、昔の枠ではおさまらない場合もあります。新しいものが必要であれば即座に新しい仕組みに改革していく、そんなことを小さいことからコツコツと・・・。

みなさんも今年もよい年です！

『市民参加、こうりたい!』 山上千尋(20代・女性)



札幌市の市民自治を考える市民会議に応募しました。札幌市が2003年7月策定した「さっぽろ元気ビジョン」を実現するため、この市民会議の提言は今後、市民自治を基本とした市政運営の目標やしくみを体系化した「自治基本条例」づくりに生かされるということです。まずは、1次書類選考をくぐりぬけ2次選考へ参加してきました。その選考会についてレポートします。

12月12日に行われた2次選考面接は『公募委員をみんなで選ぶ会』と呼ばれており、男女それぞれにわかれて行われました。公募委員候補者がそれぞれ8名、それから選考委員(女性グループの場合:市職員2名、指名委員2名)が10点ずつの持ち点を自分以外の候補者につける方法でした。市民参加についての委員会であるため、選考も市民参加で...と考えたようですが、ちょっと内向きかな、と思いました。市民参加の大きな課題として、一部の人が関わっているということがあると思います。この選考方法にもまさにそのような課題があり、できればネットや「広報さっぽろ」などで札幌市民だれもが選考に参加できたらよかったですのではないかと思います。

選考内容はというと、候補者が男性ならば男性候補者8名分の、女性ならば女性候補者8名分の1次選考時に提出した400字程度の提言(「私にとっての市民参加」)が事前に送付されており、各候補者は自分の提言についての補足など、5分間のプレゼンをするというものでした。その後、参加者全員での質疑応答もありました。しかし、ある候補者は、候補者も採点者に含まれている選考方法の場合には、候補者がいっしょうけんめいに選考に参加しようと質問すればするほどその候補者は自分のアピールが出来なくなるのではないかと言っていました。

これが市民参加なのか?と、疑問な部分もありますが、こういう公募があっただけでも前進だということです。また、5分間プレゼンの終わりを知らせるアラームの音を“ぴよぴよ”という、なごみ系の音にしてみたりなど努力も感じられました。まだまだこのような市民参加の方法自体が確立されていないのだと思うので、これからはいろんな案を出すことでもっと市民が社会に参加しやすくなるといいな~、と思ってどんどん参加していきたいと思っています。なにごととも無関心ではいられないと思います。なにもしないでいることが知らないうちに意思表示になっていることもあります。イラクへの自衛隊派遣が世論調査の結果と大きく食い違いながら進んでいることなどは一考の余地があると思います。ということで、みなさんもじゃんじゃん『市民参加』していきましょう!

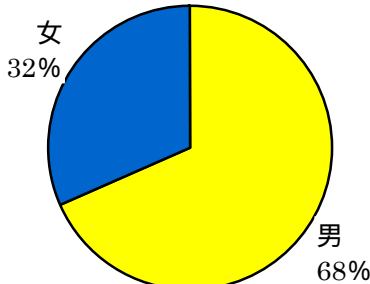
4日後。札幌市総務局都市経営課の方からの電話により、私の2次選考での落選が判明いたしました。

【おしまい】

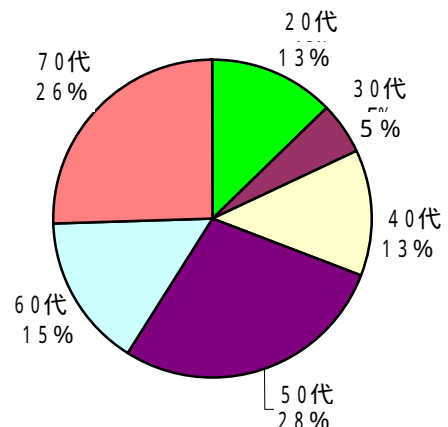
詳しくはコチラ <http://www.city.sapporo.jp/somu/kyodo/index.htm>

【参考】応募状況について

女	10人
男	29人
総数	39人



20代	5人
30代	2人
40代	5人
50代	11人
60代	6人
70代	10人
総数	39人



札幌市介護保険・福祉サービ

事業所ガイドブック 2003年12月発行

札幌市内にサービス提供する介護保険・福祉サービス事業所1336箇所(一部札幌市外含む)を網羅した最新情報満載のガイドブックが北海道NPOサポートセンターから発行されました。

【読みやすい、探しやすい4つの特徴】

介護保険事業所、介護保険対象外事業所とも、在宅系・施設系の事業所が、サービスごと、区ごとにアイウエオ順にわかりやすく記載されています。

サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービス等、きめ細かな最新情報が満載です。

サービス別、区別、法人別の3種類の索引付き。

札幌市在宅介護支援センターの情報も区別一覧表で見やすく載っています。

【問合せ・連絡先】

特定非営利活動法人北海道 NPO サポートセンター 札幌市中央区南2条西10丁目クワガビル2F
相談センター 札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル8F

TEL 011-204-6523


FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org/>

ご注文は、FAX、E-mail、ホームページでお受けしています。

また、当センター及び相談センターで直接購入していただくこともできます。



市内事業所
1336箇所
を掲載！
(一部市外を含む)

札幌市介護保険・福祉サービス
事業所ガイドブック

A4判
(448ページ)
定価 **2000**
円
【税込】

平成15年12月
特定非営利活動法人
北海道NPOサポートセンター



NPOバンク 誌一側

2004年1月
Vol.9



NPOバンク事業組合 理事長 高木晴光

明けましておめでとうございます。

NPOバンク事業は、多くの方々に支えられ、有意あるNPOを資金的にサポートする市民が作り出した新たな仕組みとして実績を積み上げて参りました。関係者のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、「市民と協働」というキーワードが急速に行政職員の間にも広まったように感じられた1年でした。これは、私たちNPO関係者にとって喜ばしいことですが、一方では、この言葉の土台にしっかりとした概念があるのかという、疑わしいことにぶつかるともままありました。「市民が・・・」「市民が・・・」と盛んに言葉にしなが行政との協働事業を模索している職員が言う「市民」とは、単に市の住民のことを指していること

に気がつき驚いたことがありました。自主・自律した個人が前提とされていない「協働」はありえるのでしょうか？「市民と行政を対等に・・・」という発言もよく聞きました。少し考えればとてもおかしなことです。対等ということが本当にあり得るのでしょうか？お給与を税金で頂いて、公共サービスを担う行政職員がすべき仕事はたくさんあるはず。利害関係が複雑に絡み合った地域事情がある場所でNPOのコーディネイト力を求められる場面も増えて来ていますが、現場を知らないままに行政が事業のフレームを決め、はじめから仕様がある仕事として、NPOに降ろされるような事業もたくさんあるようです。本来は、市民が上位に居て、行政機構がある構図のはずです。行政（お上）が、権益をもったまま、市民の土俵に降りてくるというような「協働」は、協働とは言えないでしょう。

では、どうしたらNPOが自主・自律的に成長発展してゆけるか？それは、高齢化、少子化の世の中に必要な新たな公共サービスを企画し、政策提案する力を養うことではないでしょうか。

新しい年のNPOバンクは、そのようなNPO自らの創造的なパワーを生み出す源泉として、皆様をサポートして参りたいと思います。



A Happy
New Year



北海道NPOバンク 理事長 杉岡直人

インターネットの普及で不可能が可能になったものはたくさんあります。世界中から情報を集めることができ、商品も購入できるようになりました。うまくすると売ることもできるから、世界消費者＝世界生産者となることも現実となっています。バーチャル空間はリアルライフを提供するようになったのです。

では、残されている必要なものは何か。それは快適な住まいと収入、そして友人であります。病院利用に困らなければ田舎で住宅を確保するのも一つの選択です。幸い？全国に高速道路をはりめぐらす話も出ています。

収入はどうでしょう。ビジネスは大都市でなくてもおこせます。スローフードやスローライフにつながる地産地消文化の中で本物志向と高級品がリンクしています。地酒も純米酒でなければ売りにくくなっているように安全と安心を食品に求めるには手間と時間がかかることを市民は学習しはじめています。

食料と福祉保健サービスを地域で支えるコミュニティビジネスはNPOを基礎とする少人数で組織を立ち上げ、地域に貢献できる21世紀産業といえます。本物を目指す活動に人々がやりがいと生きがいを見出し、ビジネスに向かう。

友人関係の絆も依存ではなく、相互依存を通じた自立が基本です。北海道NPOバンクが全国のバンクネットワークをリードし、21世紀をNPOの世紀とする道筋が見えてきました。

北海道NPOバンク第5回融資決定

第5回の融資審査が終了し、4団体のNPO法人に580万円の融資が決定されました。今回は環境保全、地域活性、介護支援、社会教育と様々な分野で活動する団体へつなぎ資金等として融資されるものです。

北海道NPOバンクは、NPOを資金面から支援していくNPO法人です。

しかしながら、資金融資におきましては、「地域の課題解決や地域資源の活用などに積極的に取り組むNPOなどの市民活動団体を融資により支援する」というバンクの目的にそった融資を行ったかどうか、さらに事業組合とバンクの持続的な活動と出資金の返還を保証するため堅実な融資を行わなければなりません。

よって、返済可能かどうかということも審査していく必要があるのです。次回のサポーター便りでは、書面審査の融資判定票の様式を公表していく所存です。融資申請をする際には、計画的な資金運用をご検討ください。

2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第6回融資	申込開始：1月19日～2月6日	・融資実行：3月中旬
第7回融資	申込開始：4月19日～5月7日	・融資実行：6月中旬
第8回融資	申込開始：7月26日～8月20日	・融資実行：9月下旬
第9回融資	申込開始：10月～11月	・融資実行：12月中旬

上記の日程は予定であり、状況によっては変更する可能性があります。

なお、融資申込み書類は、URLにて取り出せます。インターネットをご利用になれない方は、下記までご請求ください。融資募集に関してご不明な点がございましたら下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ガンバレ！NPO



慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士課程 宇都宮クララ

現在修士課程でNPOやワーカーズコレクティブへの融資の仕組みについて勉強しています。9月に北海道NPOバンクに伺い、バンクの理事、審査委員、出資者、融資を受けられている事業主の方など多くの関係者にインタビューをさせていただきました。

私自身、大学の学部時代より地域活動団体を運営する中で資金的課題を痛感しています。また同時に、地域の方が出して下さったお金の中に込められた応援の気持ちに励まされてきました。

NPOバンクが融資するのは、まさに市民の「気持ちのこもった」「顔の見える」お金であると感じています。そして、そのお金を物的担保がなく過去の実績の評価が難しい事業者へ融資する、という困難なことを可能にしているのはNPOバンク、サポートセンターという「場」があるからだと思います。バンク関係者の事業者に対する日々の細かいサポート体制がお金以外の「信頼」「つながり」を生み出しています。このような新しい動きは全国的にも始まりつつあります。今後のご発展を期待しております。

お知らせ・お願いコーナー

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

http://npohokkaido.org/ E-mail: npobank@npohokkaido.org



新春を迎え皆様のご多幸をお祈り申し上げます
NPOバンク事務局一同



北海道NPOサポートセンターが発行する

北海道のNPO総合情報誌[えぬぴおん]

偶数月月中旬発行

第8号(12月20日発行)の主な内容

- グラビア・アラエル号でエコな出店・おもちゃフォーラム2003 おもちゃとともだち！
- 札幌市民1000人ワークショップ 市民自治が息づくまちづくりへ
 - フロント対談「北海道に夢とパワーを！ 起業を考える」NPO法人札幌ビズカフェB2代表 宮田昌和さんVS.HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚人さん
 - 特集 新しい働き方「起業」
 - 総論「起業のススメ」 札幌学院大学 河西邦人さん
 - アントレプレナー講座参加者アンケート 「あなたはなぜ 起業したいのですか？」
 - NPO起業成功事例1 パソコン習得と自立支援 NPO法人 札幌チャレンジド
 - NPO起業成功事例2 コミュニティ放送局が街づくりを推進NPO法人さっぽろ村コミュニティ工房
 - 生活者として地域と仕事をつくりだす 「ワーカーズコレクティブ」という働き方
 - ベンチャー起業成功事例1 女性起業家「小さな起業の物語」
 - ベンチャー起業成功事例2 ドリームゲート・コミュニティビジネス コミレス
 - この人に会いたい 小さな人々の時代
チェルノブイリと9・11は未来からのサイン
 - 「小さな人々」の記録を書き続けるベラルーシの作家
スベトラナ・アレクシエ - ピチさん
 - シリーズ
NPO現場百景・NPO法人 アラ！あずましい会
NPO法人 北見ピアソン会・NPO法人 こころの郷
 - 新・ワーカーズが行く！ 住み慣れた地域で安心して暮らすために
 - 介護サービス・家事援助 NPO法人北海道たすけあいワーカーズ「そよ風」
 - 道内トピックス・ひまわりの種の会・吉岡忍講演会
 - 陪審制度を体験してみよう・札幌ピースアクション
 - 道内NPOサポートセンター便り 函館・旭川・釧路・北見
 - 市民活動をサポートする施設 働く人の相談室/NPO相談室
 - 連載
市民活動のススメ 助成金をゲットして団体の力を蓄えよう～助成金申請の心得～
新・野生動物最前線 ねおすのNPO的経営談義 民主主義的な経営はできるのか？ その2
難民キャンプで出会った子どもたち 第2回 ものやお金をせがむ子どもたち アフガン難民キャンプ
えぬぴおん占い 2004年のあなたの運勢は？ カタカナ用語を斬る！ 今月のお題「アントレプレナー」



えぬぴおん 8号

▶えぬぴおんバックナンバー紹介◀

- 「えぬぴおん創刊号」2002年10月1日創刊！ <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海学園大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(元 BizCafe 運営会議議長)NPO現場百景 / ・札幌チャレンジド・シーズネット・北海道子育て支援ワーカーズ
- 「えぬぴおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談>田中康夫(長野県知事) vs 逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大佐藤郁夫先生の対談。
- 「えぬぴおん第3号」2003年2月20日発行 グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議 / 市民活動フォーラム <フロント対談>香山リカ/逢坂誠二 この人に会いたい！東原太陽グループ社長
- 「えぬぴおん第4号」2003年4月20日発行 フロントインタビュー 地域創造をめざして札幌学院大学大学院教授 上田陽三さん これからは、大学で市民活動やNPO, コミュニティビジネスを学ぶ時代？ この人に会いたい！ 若者に人気のイベント企画屋うわさの仕掛け人、木野哲也さんに接近。 特集 子どもたちに夢と希望を～子どもの命・心・人権をめぐる市民活動～
- 「えぬぴおん第5号」2003年6月16日発行<フロント対談>「地域が輝くとき---映画でまちおこし」映画「田んぼ de ミュージカル」とショートフィルム崔洋一(映画監督) vs 久保俊哉(メディア・プロデューサー)
- 「えぬぴおん第6号」2003年8月13日発行フロント対談 「崩れた社会のネットワークをどう回復させるか～NPOが重要な役割を果たす～」札幌市長上田文雄さん vs シナリオライター小山内美江子さん
- 「えぬぴおん第7号」2003年10月25日発行フロント対談NPOが日本を変える「一人ひとりが自己実現できる社会をめざして」上田文雄(札幌市長) x 北川正恭(前・三重県知事・早稲田大学大学院公共経営研究科教授) x 早瀬昇(特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事)NPO全国フォーラム北海道会議のオープニングフォーラムより収録。民間人であり、NPO理事から札幌市長になった上田文雄氏、三重県知事からNPO人になった北川氏らが「NPOは真の民主主義実現の担い手になりうるか」をテーマに語りあう。

イベント案内

環境ジャーナリスト **枝廣淳子さん講演会**

がんばっている日本の企業・自治体・市民を
あなたはまだ知らない
～国内省エネ先進事例紹介～

環境分野の通訳者として国際会議やシンポジウムで活躍されている枝廣さんは、省エネ、省資源、自然エネルギー、リサイクル、ゴミ問題などの環境分野に関する最新情報をメールニュースで発信しています。その読者は世界106カ国に上っています。

また昨年、国内の先進事例を海外に発信するNGO（ジャパン・フォー・サステナビリティ）を立ち上げています。楽しくためになる元気の出る講演会です。講演会終了後サイン会も予定しています。

とき：1月31日（土）13：30～15：30

ところ：札幌市教育文化会館 研修室305

札幌市中央区北1条西13丁目

定員：150名

参加費：事前申込500円 当日700円

参加申込 電話011-280-1870

FAX011-280-1871

メール office@h-greenfund.jp

NPO法人 北海道グリーンファンド

書籍案内

『ぜ～んぶまるごとNPO』

- すいすい読めてよくわかる -

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター
定価 400円（税込み） FD 500円（税別）

これからNPO法人格取得を考えている団体におすすめ。

（目次）

市民活動とは

法人格取得の申請手続き

NPOと法制度の現状

会計、事業報告、税務について

資料編として、

・特定非営利活動促進法（平成15年5月1日施行版）

・特定非営利活動促進法施行規則（同）

・特定非営利活動促進法施行条例

・申請に必要な書類（ひな型）

を掲載しています。

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター

TEL： 011-204-6523

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



NPOな...

書籍案内

『さっぽろ会議室のほん』改訂版

A5判（66ページ） 定価 400円（税込み）

市民活動団体等が会議や講演会などを実施するに当たってのお助け本『さっぽろ会議室のほん』が改訂されました。札幌市内の貸し会議室の最新情報を掲載。利用時間、料金、休館日、交通機関、申込方法など、使いやすく編集されています。

また、旧『さっぽろ会議室のほん』（ホール、イベント会場、ホテル情報も掲載・500円）と改訂版併せてご購入の方には2冊組800円で販売しています。

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター

TEL：011-204-6523

E-mail

npo@mb.infosnow.ne.jp



イベント案内

【nico（ニコ）】～体で感じよう～

打楽器の響きは体をまっすぐに通り抜けていきます。ezorock がプロデュースする音楽イベント「nico（ニコ）」は、電気を使わなくても思いっきり楽しめる（＝地球に優しい）イベントです。

NGO 団体による体験型ブースなども企画中。

あなたの体のエネルギーを充分に使って、歌って踊って楽しんじゃってください。

そして、このイベントからあなたの暮らしにキラリと光る何かをもって帰って欲しいです。

にこにこ（nico×2）笑って楽しみましょう！

【日時】 2月7日（土）

OPEN17:30 START18:00 CLOSE22:00

【場所】 公開秘密結社あじと（札幌市中央区南9西11

【交通機関】 地下鉄南北線中島公園駅から徒歩15分

市電 西線9条旭山公園通り駅から徒歩5分

車でのご来場はご遠慮願います。

【出演】 ジンベクラブ・HARD TO FIND・腐葉土

【料金】 1,500円（1drink付）

【協力】 北海道環境財団

海運堂（キャンドルコーディネート）

【主催】 ezorock <http://www.gomizero.org/ezorock/>

【お問い合わせ】 090-2813-4657（今）

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 03年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000～
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,535
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上～) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可(両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,535
		片面 B4 1000枚	4,035
		片面 A3 1000枚	4,535
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円が別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60～
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000～
		支援費 1事業所	7,000～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(常駐スタッフがお聞きし専門家にお伝えします)
法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンターNPO相談センター / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

引越し・旅行・車検のことなら・・・札幌”はこび愛ネット”をご利用ください!

ご存知かもしれませんが、飛んでけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。詳細 <http://www.sattsu.co.jp/>

どうやって利用するの?申し込みはとても簡単。下記の”はこび愛ネット”推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です。(一部対象外あり)ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌”はこび愛ネット”推進事務局(札幌通運労働組合内)

電話011-251-4120 FAX011-251-3315

お正月特集「NPOサボセンかるた」

お正月もNPOしたいあなたにお届けします！

NPOを分かりやすく楽しく知ってもらおうNPOサボセンかるた第1弾！！

感想やもっとよいアイデア等、募集していますので、ご連絡ください。今回は入門編、来年はもうちょっと上級編作りたいなあ。

作成：大坂ゆかり、北村みえこ、畑けんいち、山上ちひろ、
第3期NPO起業科メンバー、土谷かずゆき

yukari@npo-hokkaido.org

あ あとはやる気と行動だ！ 法人設立
い いつでもどこでも 起業をサポート
う うさんくさい？ 一見に如かず NPO
え 英知の集まる頭脳グループ
お おもしろい 人材集まる NPO
か 官よりも きめ細かいのが取柄だよ
き 協働で 常にぶつかり 共に行く
く 苦渋の選択 緊急雇用
け 健康な 心と知恵で 助け合い
こ こんなのもあんなのもあり いっしょくたにされたくないときもある
さ サステイナブル！ 持続可能が基本です
し 自然こそ 大切なのに なぜかいつも後まわし
す スリム化も NPOにおまかせです
せ 先駆的 常に社会の先行く NPO
そ その問題 ソーシャルアントレプレナーが解決するかも
た 立ち上がれ！ 北海道の NPO
ち 地域の悩み、解決するため起業します！
つ つなぎ資金 NPOバンクで借りられます
て 定款は団体の約束 決まり事
と とにかくやってみよう！ 特別なことではないんだ市民参加
な なんてかな？ 社会への疑問が第一歩
に ニュースレター アピールしましょ！ 活動を
ぬ 抜け出すぞ！ 北海道のこの不況
ね 年度末 資料作成 手を抜かず
の のんびりと ノンプロフィット ノンガバメント
は 配当はあなたの心に、非営利事業
ひ 人に言われたことでなく自分で見つけて始めよう
ふ ふれきしふる(柔軟性)が私たちの強みです
へ 変革を起こして豊かな市民社会づくり！
ほ ほんとうの自由求めて NPO
ま 街と街 人と人の輪 NPO
み ミッションを常に忘れず組織運営
む 無料でも税金が使われていることを忘れずに！
め メンバー募集はいつでもしています
も もう一步 踏み出す勇気 ボランティア
や やさしさと 少しの勇気で 寄付をする
ゆ 夢追いマガジン「えぬびあん」
よ よーく考えよう 税金(おかね)は大事だよ
ら ラジオから 聞こえてくるよ コミュニティ
り 理事会でぎゅっ議論 つめくまり
る ルーティンワーク 飽きたらおいで NPO
れ レイオフは 起業のチャンス 前向きに
ろ 論理ばかりじゃ実行に移せないときもあるぞ
わ 忘れずに！ 次のリーダー育成を
を をんてっど！ それは君たち 待ってるよ
ん んにゅ？ 官のおかしいところ チェック中！

情報BOX

札幌と近郊「NPO会計支援ボランティア」を紹介します

10月中旬から11月中旬にかけて、札幌学院大学社会連携センターにて、札幌学院大学商学部教授の畑山教授とNPO法人エーピーアイ・ジャパン代表の瀧谷税理士による「NPO会計支援ボランティア養成セミナー」(全5回)が行なわれ、25名の方が参加されました。今回、この講座を終了した受講生の数名が、NPOでのボランティア活動を希望しています。

もし、会計スキルを身につけたボランティアを必要としているNPOがありましたら、下記までご連絡ください。

NPO法人エーピーアイ・ジャパン(瀧谷まで)

TEL&FAX: 011-681-1118、携帯: 090-3618-9067、

E-mail: apitakiya@aol.com

北海道全域 福祉環境アドバイザー派遣します。

講習会(バリアフリー、福祉人材育成、相談体制整備など福祉のまちづくりに関するもの)へのアドバイザー派遣(謝金・旅費は道庁負担)

手続きは下記にお問い合わせください。

北海道保健福祉部地域福祉課福祉基盤グループ

担当:大塚さん 電話 011-231-4111 内線 25-617

札幌 講演会「これからの社会と組織の役割」

CSR(企業の社会的責任)

CSRの視野を「企業」以外に広げ、「これからの社会と組織(例えばNPO、行政機関)の果たすべき社会的責任」について考える。

講師 後藤 芳一 氏(日本福祉大学客員教授、
経済産業省産業技術環境局標準課長)

日時:1月24日(土)13:00~15:00

会場 北海道浅井学園大学北方圏学術情報センター

8階大会議室(札幌市中央区南1条西22丁目)

参加費 無料 定員100名

問合せ 北海道浅井学園大学711共同研究室

電話011-387-3693

申込〆切 1月19日

主催 北海道浅井学園大学人間福祉学部

北方圏生活福祉研究所

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ

「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介

パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援

助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)

詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523(担当:畑)

 下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報(抜粋)です。詳細は各助成元に問合わせ下さい。

全日本冠婚葬祭互助協会第5回社会貢献基金

地域に種々の災害救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行います。

：助成金額：200万円を上限、研究事業は100万円を上限とします。

応募資格：今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。

活動実績が3年以上必要です。

募集締めきり：平成16年2月末日(必着)

お問合せ先：社団法人全日本冠婚葬祭互助協会事務局 社会貢献基金助成公募 受付係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7F

TEL:03-3443-4415 FAX:03-3435-0880

E-mail:webmaster@zengokyo.or.jp

URL:http://www.zengokyo.or.jp/

財団法人介護労働安定センター

・今後の新規創業や新サービス開始にあたって、従業員の雇い入れを計画している介護関連事業主の方に対する助成制度があります。

介護雇用創出助成金

・今後の新規創業や新サービス開始にあたって、従業員の雇い入れを計画している介護関連事業主の方に対する助成制度があります。

介護雇用創出助成金

・従業員の働きやすい職場環境づくりのお手伝いをするため、雇用管理についてのご相談を受け付けています。

雇用管理についての相談援助事業

雇用管理についての情報提供事業

・働きやすい職場づくりを進めるため、雇用管理について学ぶ講習やフォーラムを実施します。

雇用管理者講習

雇用管理改善推進フォーラム

・介護サービス提供中の万一の事故に備えた賠償責任保険があります。

介護事業者賠償責任補償

介護労働安定センター北海道支部

060-0061 札幌市中央区南一条西6-4-19 旭川信金ビル4階 電話 011-219-3157 FAX011-219-3158

街なか再生 NPO 助成金の目的

この助成金は、中心市街地活性化に関する様々な課題に取り組まれている NPO の皆さんを、(財)区画整理促進機構(街なか再生全国支援センター)が資金面で助成することで、自発的に問題解決に取り組む市民参加型の活動・事業を支援し、街なか再生に寄与することを目的とします。区画整理促進機構(街なか再生全国支援センター)が資金面で助成。

助成対象

〔1〕対象地域

市町村の中心として役割を果たしている中心市街地を対象とします。

〔2〕対象分野

街なか再生に寄与すると考えられる事業を対象とします。

まちの資源(歴史的建造物、産業遺産)を活用する

取り組み

まち特有の文化、伝統を活用する取り組み

まちの新たな魅力、可能性を探る取り組みなど

〔3〕対象団体

主に、まちづくりに関心を持ち、活動・運動・事業を行っている NPO に限ります。

助成額

本年度の助成総額は200万円以内とし、1事業の助成限度額は50万円以内とします。

申請から助成金交付までの流れ

平成15年11月17日

～平成16年1月16日 助成金公募受付

平成16年3月上旬 街なか再生 NPO 助成選考委員会による選考

平成16年3月末 決定通知

平成16年4月1日～ 覚書の締結

覚書締結後、1ヶ月程度で助成金を交付

平成16年4月～

平成17年3月31日 事業の実施期間

平成17年4月末日 活動報告書を提出

申請書の請求

郵送をご希望の方は送料分の切手(1部につき140円)を貼って郵送先を記入した返信用封筒(A4が入る大きさ)を同封し、当財団「街なか再生全国支援センター」まで郵便にてご請求ください。

財団法人 区画整理促進機構

街なか再生全国支援センター

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-3-11 花菱平河町ビル3階

TEL.03-3230-8477 FAX.03-3230-4514

街なか再生NPO助成金担当：中川

http://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html

E-mail:nakagawa@sokusin.or.jp

民間海外援助活動助成金

開発途上国の住民の生活向上のための援助活動に係る調査研究、広報・啓発

助成金 事業費の80%以内(上限500万円)

対象期間 H16年4月1日～翌年3月31日

受付締切 H15年1月23日(金)17時必着

問い合わせ 財)国際開発救援財団

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-2F

申請書請求はハガキかFAXで。

電話 03-5386-0541

FAX 03-5386-0542

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃(北海道大学教授)

杉岡 直人(北星学園大学教授)

杉山さかえ(北海道グリーンファンド理事長)

横山 純一(北海学園大学教授)

事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ

事務局長 小林 董信

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目

クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL http://npo-hokkaido.org/